

おしゃれキャンプ



コロナ禍でどこにも行けない。でも夏を感じたい！！と考えたのが園内で行う、流行りのおしゃれキャンプ。

「おしゃれ着を着て過ごすキャンプ・・・？」というおしゃれキャンプとは何ぞやというところから始まりましたが、テントの飾り付けや椅子やテーブルをコーディネートしたり、料理の盛り付けを考えたりといつとは違ったキャンプの楽しみ方がありました。

夜には揺れる焚火を囲んでのキャンプファイヤーや怖い話、テントの中からの映画鑑賞・・・としっかりと遊びました。園内でのテントも想像以上に快適だったためか就寝してまで大いびきと寝相の大運動会が行われました。朝は近所の小道を散歩しましたが、眠るところが違ったからか、知っている道はずなのにいつもとは違う景色、違う空気のように、さすがに感じました。

外で食べるご飯はいつも以上に美味しく感じ、ダッチオーブンと焚火で作られたカレーは別格。大鍋いっぱいのカレーはあっという間に平らげられ、「幸せな味がするね♡」の小学生の一言でみんなが笑顔になった、そんな素敵なひとときとなりました。

美作へお出かけ



夏休みに、美作へ遊びに行きました。コロナ禍でなかなか外出が出来ず、久しぶりにホーム全員で遠出することが出来ました。川釣りをしたり、屋内アスレチックで遊び、思いきり自然に触れた一日でした。川釣り体験では、限られた区画のため、譲り合って竿を使ったり、経験者が初心者サポートをしたりと中高生の頼もしい姿を見ることが出来ました。屋外で皆で食べたお弁当も美味しかったです。



祭 ホームでお祭り

子どもたちから「夏祭りに行きたい、浴衣が着たい」と声が上がりました。しかし、コロナウイルスの影響で楽しみにしていた夏祭りが中止になってしまい、子どもたちはとても残念そうにしていました。

そんな中、高校生の「ここで祭りしようよ」という一声で、園内で縁日をする事が決まり、みんなで準備をはじめました。ヨーヨー釣りやくじ引き、屋台のご飯準備、看板づくりなどみんなで協力して縁日を作っていました。



当日は、屋台のご飯、焼きそば、ポテト、フランクフルトなど作り、子どもたちは飾り付けやゲームコーナーの準備をして、全員浴衣や甚平を着て、夕方から縁日を楽しみました。

子どもたちの心から楽しんでいる笑顔を見るととても嬉しくなりました。

最後にみんなでうらじゃ音頭を踊り、花火をして、縁日は終わりました。

長かった夏休みですが、夏の終わりにとても良い思い出ができました。コロナウイルスが流行し始めてからいろいろな行事が中止になり、お出かけがしにくい状況ですが、こうやって今できることを子どもたちと一緒に考えて作って、これからも楽しい思い出を沢山積み重ねていきたいなと思います。



夏休みの思い出

新型コロナウイルスの影響で、県外への外出や人が多く集まる場所へ行くことが困難な状況が続いています。

そんなコロナ禍という厳しい状況の中であっても、「子どもたちとコロナ禍でも出来る楽しい思い出作りを！」との想いから、夏休みには、それぞれの家（ホーム）で子どもたちと一緒にできることを考え、コロナ対策を徹底し、創意工夫を凝らし、子どもたちと楽しい時間を過ごすことが出来ました。



冒険の森ひるぜん

子ども5人、職員2人で夏休みに”冒険の森ひるぜん”に出かけました。冒険の森ひるぜんとは、蒜山高原の東端に位置する里山「中和（ちゅうか）」地域の森にある、森林を活用した自然共生型アウトドアパークです。ハーネスを装着し、インストラクターから安全講習を受けたあと、樹上に設置されたツリートップアドベンチャーを体験しました。

現地に到着すると子どもたちは目の前に広がる自然とアトラクションに目を輝かせ、ジップラインに乗ったり、地上から10m以上の高さにある綱渡りをしたりと、どうすれば目の前のコースをクリアできるのかと真剣に考える表情がとても印象的でした。

普段の生活の中で見える表情とは違った、楽しさに満ち溢れた表情、苦しいコースを乗り越えた時の満足感で溢れた表情など、普段見られないたくさんの表情を見ることができ、子どもにとっても職員にとっても、とてもいい経験になったと思います。

